

## 【川西町】 校務 DX 計画

令和5年11月および令和6年9月に実施した「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」の調査結果では、本町においても統合型校務支援システムの導入等により校務DXを一定程度推進できている項目と、今後改善していく必要がある項目が見られた。特に、「汎用クラウドサービスを活用しきれていない」「教員・保護者間の押印・署名が必要な書類のやり取り」「校務DX推進の環境整備」等が必要である。これらを踏まえ、当町では、以下の取り組みや検討を行い、校務DXを進めていく。

### 1 汎用クラウドツールの一層の活用

学校から保護者への連絡ツール（お便り配信、アンケート等）については、各学校で取り組み状況が異なるため、既に利用しているメール配信サービスやアンケートフォームを活用するといった検討や、市内小中学校で共通サービスを導入するといった検討を進める。また、各校の好事例を集め、他校への情報発信を行い、クラウドツールの活用意欲を喚起していく。

### 2 教職員への校務用個人メールアドレスの付与

教職員の業務効率化を進めるため、一人一人に校務用個人メールアドレスを付与できる環境整備やルール作りを進めていく。

### 3 FAX・押印の原則廃止

FAXと押印の原則廃止は、校務の効率化、ペーパーレス化、教職員の働き方改革を達成するための重要な要素となる。令和7年度中の原則廃止に向けて、メールやクラウドサービスの活用を進めるとともに、各種関係機関等に対しても、慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行う。

### 4 アンケートのペーパーレス化

これまで集計等に多くの時間を必要としてきた児童・生徒や保護者への調査・アンケートを行う際に、クラウドサービスを活用して実施するようになってきているものの、学校間で利用率にばらつきがあるため、今後も学校への働きかけを行い業務時間や経費の削減を図っていく。

### 5 ICT支援員の配置

令和7年度より各小中学校へ月2～3回程度ICT支援員を配置する予定である。児童生徒端末の設定やICT活用の支援・補助、校内研修等、教員の業務補助やICT活用能力向上に向けた動きを進めていく。

### 6 教育委員会が実施する研修方法の検討

これまで教育委員会主催の研修は、すべて対面による実施であった。令和7年度からは対面だけでなくオンライン参加も可能なハイブリッド方式を検討し、実施していく。また、研修資料を紙媒体だけでなく、クラウド上に保管、閲覧できるようにし、ペーパーレス化を図っていく。